

補助金調書

| | | | | | | | | |
|---|--|---|------|----|--------------|--------------------------------------|-------|--|
| 補助金名 | GAP認証取得支援事業補助金 | | | | 担当課 (連絡先) | 農林水産局総務農林部農業振興課 (TEL092-711-4852) | | |
| 交付先 | <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体 | 農業者、農業者団体 | | | 区分 | その他の補助金 | | |
| 交付先決定方法 | <input type="checkbox"/> 非公募 | (公募の場合) 公募時期 | | | | | | |
| (公募の場合) 応募要件 | | | | | | | | |
| (非公募の場合) 非公募の理由 | 補助目的を達成し得る事業実施主体が限定されるため。 | | | | | | | |
| 補助開始年度 | 令和4 | 年度 | 経過年数 | 2 | 年度 | | | |
| 補助金の目的 及び 補助対象事業 | <p>【補助金の目的】 農業生産工程管理(以下「GAP」という。)の普及促進を図り、市内の農業者、生産組織等による農産物の安全性及び品質の向上、環境の保全等を推進するGAPの認証取得を支援することにより、本市の農業の持続的な発展に資することを目的とする。</p> <p>【補助対象事業】 福岡県GAPの認証を取得するための活動。</p> | | | | | | | |
| 補助金の終期 | 令和6 | 年度 | 延長回数 | 0 | 回 | | | |
| 終期を延長する理由 | | | | | | | | |
| 交付対象経費及び 補助金の算定方法等 | <input type="checkbox"/> 定率 | <p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】</p> <p>○補助対象経費 福岡県GAP認証取得にかかる経費のうち、残留農薬・水質・土壌の分析費用、研修指導の受講費、ICTを活用した情報システムの初期導入費用、認証対応施設の改修資材の導入に係る費用</p> <p>個人: 補助対象経費の1/2かつ3万円以内 団体: 補助対象経費の1/2かつ取組農業者数に3万円を乗じた金額以内</p> | | | | | | |
| (間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準 | 【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】 | | | | | | | |
| 交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1) | 当該年度 | | 前年度 | | 前々年度 | | 前々々年度 | |
| | 件 | | 5 件 | | 件 | | 件 | |
| 700 千円 | | 173 千円 | | 千円 | | 千円 | | |
| 前年度補助事業 の主な実施概要 | <p>【事業概要】 品目: ブロッコリー、加工大根、青果大根、ほうれん草、トマト 事業実施主体: 5営農集団 受益戸数: 74戸 事業内容: 水質検査・残留農薬検査の実施、農薬保管庫の整備</p> | | | | | | | |
| 補助金交付 による効果 | 福岡県GAPの認証取得を推進することで、農産物の安全性への意識付けが図られ、また、福岡市の産地としての競争力が強化される。 | | | | | | | |

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。